

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	公共交通体制の充実	政策(項)番号	II
施策名(目)	町内総合交通体系の確立	施策(目)番号	②
担当課	企画財政課	担当課長	栗野 由三

1. 施策の基本方針

施策目的	・バスやタクシー等を効果的に組み合わせた町内交通体系を確立し、公共交通を必要とする住民の足を確保することを目的とする。
------	---

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・町域が広い、車の運転ができない住民は日常生活を営むため公共交通に頼らざるを得ず、ニーズは極めて大きい。 ・高齢化の進行に伴い、ドアtoドアの交通サービスに対する要望が強い。 ・民間事業者によるバス運行がすべて廃止されており、行政主導による交通サービスが必要とされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の民間交通事業は経営が厳しく、各地でバス路線廃止が相次いでいるが、各自治体では住民バスやデマンド交通システムの導入などによって住民の足の確保に動きだしているところが増えている。 ・国では過疎地での有償運送など、規制緩和によって地域内交通の確保を推進している。 						

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	公共交通年間利用者総数	目標			86,000人	86,000人	86,000人		
		実績	73,680人	72,744人	70,766人			87,000人	
		達成率			82%				
参考①	1便あたりのデマンド利用者数	目標			5人	5人	5人		
		実績	2.5人	2.5人	2.4人			5.0人	
		達成率			48%				
参考②	受益者負担割合	目標			25.0%	25.0%	25.0%		
		実績	19.3%	18.2%	18.2%			25.0%	
		達成率			73%				
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		71,431千円	54,008千円	45,958千円	45,743千円	47,975千円	47,975千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	1,826千円	1,902千円	2,065千円	1,970千円	1,906千円	1,906千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	14,411千円	13,314千円	14,506千円	12,773千円	14,085千円	14,085千円
	一般財源	55,194千円	38,792千円	29,387千円	31,000千円	31,984千円	31,984千円
従事者数	正職員	0.45人/年	0.42人/年	0.35人/年	0.35人/年	0.40人/年	0.40人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	3,030千円	2,864千円	2,376千円	2,376千円	2,716千円	2,716千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		390千円	393千円	318千円	318千円	364千円	364千円
トータルコスト		74,851千円	57,265千円	48,652千円	48,437千円	51,055千円	51,055千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・町が補助金等により直接総合交通体系の構築に関わっており、一定の住民ニーズを満たしていると認められるため達成度は高い。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・利用者ニーズに合わせて運行内容の見直しなどを行うことによって、ある程度利便性を向上させることは可能であるが、町内で完結させるという現行の方針を基本とする場合は、成果向上に限界がある。
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・本施策は公共交通体制の充実を図る上で中心的な役割を担っており、直接的は効果も期待できるため貢献度は非常に大きい。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の総合交通体系は町内で完結することを基本として構築しているが、地区ごとに生活圏や経済圏が異なる町内の事情を考慮すると、町外への公共交通手段の確保が必要と考えられる。 ・民間タクシー事業者と共存するための調整が必要である。
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・車の免許を持たない高齢者等の移動手段確保は極めて重要であり、今後とも現在の体系を基本に維持継続を図る。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。